

東与賀まちづくり協議会だより

発行：東与賀まちづくり協議会

東与賀まちづくり協議会「第2次夢プラン案」を作成

東与賀まちづくり協議会は、平成25年6月に設立し「自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち 東与賀」を目標にし、これまで各専門部会が掲げています「夢プラン」に基づき活動に取り組んで参りました。

しかし、5年を経過しましたが、まちづくり協議会の事業が地域に対し、まだまだ、浸透していないということで、今年の総会において承認を頂き、まちづくり協議会の事業内容について見直すことになり、応募者10名による検討委員会を設けまして検討をしていただきました。

検討委員会では、住民参加のワークショップ(座談会)をはじめ、「第2次夢プラン案」等について検討・協議を重ね、もっと広く、より多くの人に、まち協の事業を知って頂くために、町民みんなが無理なく、楽しくまち協に参加できるようにとのコンセプトで「第2次夢プラン案」を作成して、まちづくり協議会に提案をしていただきました。

今回提案していただきました「第2次夢プラン案」の内容を参考にしながら、今後まち協がもっと魅力ある事業になるように取り組んで参りたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願いします。



ワークショップ(座談会)



検討委員会

◇道徳教育標語入選作「輝ける子どもの未来につなぐため 大人が見せる清らかな心」原 裕子さん

子どもの育成部会

会長：山田邦男

副会長：小路丸正安

平成30年度の子どもの育成部会は、児童生徒を中心にした「米づくり体験事業」と「夢プラン講演会」を実施しました。

「米づくり体験事業」では、小学5年生が自分たちで田植えをしたもち米を、10月17日にJA青年部の方に協力してもらい稲刈りをしました。そのもち米を11月3日のシチメンソウ祭りの時に販売しました。

「夢プラン講演会」は11月29日(木)に中学生と小学6年生が参加して行われました。今年は明治維新150年ということで佐賀県内ではいろいろな関連行事が行われ、それにちなんで佐賀の七賢人の話を佐賀城本丸歴史館の方に話していただきました。

まちづくり協議会の役員の方々にも参加していただき、とても参考になりました。



地域の活性化部会

会長：山田和由

副会長：石丸幸子

第6回新春親子凧揚げ大会開催

2月16日(土)の凧づくり教室には31名の子どもたちが参加し、親子で手づくり凧を作成しました。24日(日)の凧あげ大会当日は天気に恵まれ10時過ぎには干潟よか公園に風も吹きはじめ、手づくり凧は勢いよく大空高く舞い上がりました。

小学生と幼稚園生で組み分けをして、絵と凧の高さを評価し上位5人ずつに「クオカード」を、また、参加者全員には参加賞を差し上げました。最後は餅入りぜんざいを食べてもらい、おかわり続出で好評でした。

来年は、今年よりもっと沢山の参加をお待ちしています。



自然・環境部会

会長：吉村信行

副会長：平方幸子

皆さん、東よか干潟が世界に誇れる干潟であることをご存じでしょうか？

「東よか干潟」には塩生植物シチメンソウの群生地であるとともに、野鳥(シギ、チドリ)類が日本一渡来しています。また、絶滅危惧種とされていますクロツラヘラサギ、スグロカモメなど他にも年間100種類以上の野鳥が渡来しています。このように自然環境の素晴らしい東よか干潟は、平成27年5月に国際的に重要な湿地として、ラムサール条約登録湿地に登録されています。

自然・環境部会では、大切な「東よか干潟」を次世代に引き継いでいくための活動として、古くなった「ポイ捨て禁止」の立て看板作りに小学4年生の皆さんに絵を描いて協力をいただきました。また、自治会長さんには各地区に看板を立てて頂くことにしています。皆さんご協力ありがとうございました。



健康・福祉部会

会長：山田悦哉

副会長：樋口 博

健康福祉部会では、住民の皆さんの福祉の向上と健康増進のために、町民体育祭、ラジオ体操会への協賛、協力を行いました。また、健康の基本である食の大事さを学ぶため、食生活改善推進協議会の会員さんの指導により男の料理教室を開催しました。



福祉の面では、誰もが住みなれた東与賀でいつまでも安心して暮らせるために、さわやか福祉財団インストラクターの阿部かおり氏をお迎えして「支えあいのまちづくりフォーラム」を開催しました。阿部さんからは、介護についての様々な「気づき」を示してもらい大変参考になりました。



また、町内のふれあいサロンの代表者から、サロンの活動状況を発表してもらい福祉の状況について情報を共有しました。これまで以上に「気づきあい、助け合い、見守りあい」の必要性を認識しました。

また、健康福祉に対する意識の向上を図るため健康福祉部会だよりを定期的に発行しています。

令和元年度も福祉の事業に力を入れて、高齢者の方の見守り活動を進めていきたいと思っています。住民の皆さんのご協力をお願いいたします。



人のつながり部会

会長：深川和昭

副会長：瀧田桂子

11月3日に干潟よか公園で行われましたシチメンソウ祭りには、園児等の遊戯、楽器による演奏、また、多くの出店等も出て多に賑わいました。楽しみにしていたシチメンソウは、天候の影響から立ち枯れが多く目立ちました。

人のつながり部会は「基本方針」である挨拶運動を昨年までの汐見橋1箇所から、西側駐車場の出入口通路の2箇所に増やし「おはようございます・こんにちは・おつかれさま」と挨拶を行いました。多くの来場者と挨拶を交わすことが出来ました。その挨拶運動が地域住民の挨拶運動として広がり、人のつながりが益々深くなってくれるものと思います。



こんにちは



安全・安心部会

会長：中牟田伸義

副会長：内田好秋

安全・安心部会では、部会員全体で町内一円を定期的に見回ろうと活動を開始し1年が経過しました。参加人数は7名から8名で、月例会に持ち込まれた危険個所の巡回ならびに防犯の観点からゲームコーナー内の立ち寄り、駐車場周辺の見回り、また、干潟よか公園内の巡回監視等2ヶ月に1回のペースで活動をしています。

特に今回は危険個所の把握ということで、船津地区の八田江川沿いに設置されている、転落防止フェンスの金網が、経年劣化により破れていたり、その支柱が宙に浮いた状態を確認、次に訪れた新村地区の農業用幹線水路は、当初は水路がむき出しの状態で危ないとの事でパイプガードが設置されました。これも、また、経年劣化により通学路側に飛び出して危険な状態などをデジタルカメラで撮影し、各地区自治会長に報告し行政機関で対応を検討してもらっているところです。

その他、人のつながり部会を中心としたまちづくり協議会全体の取り組みとしてラジオ体操会や、敬老会、11月初旬に行われるシチメンソウまつりに於いて「あいさつ運動」を連携して行いました。

